



まんまる新聞

No.17



令和7年4月

発行：社会福祉法人みどの福祉会
地域貢献事業部代表 丸茂ひろみ
高崎市新町333
0274-42-0111

「おれんじカフェ faden」は、高齢者あんしんセンターみどの新町が主催し、2ヶ月に1回のペースでcafe fadenで行っています。認知症予防としてオレンジサポーターさんが中心になり、皆さんで脳トレや運動をしてお茶を飲むというゆるやかな集いです。認知症になっても住みやすい新町、認知症の方に優しい新町を目指しています。

群馬県認知症疾患医療センターは、専門医や相談員を配置しており、認知症の早期発見・診療体制の充実・医療と介護の連携強化・専門医療相談の充実を図ることを目的として14の医療機関に設置されているようです。私たちは地域でできることに取り組みたいと考え「認知症サポーター養成講座」を、上武大学看護学部の学生と新町中学校の3年生に毎年実施し、理解者を増やすべく継続したいと考えています。

おれんじカフェ
faden
ミニ講話
講師：元 消防士のパン屋さん

時間 10:00-11:30
参加費 100円（飲み物・お菓子付）
場所 つむぎハウス「cafe faden」
高崎市新町333番地（赤いドア）

2025. 4. 11

出入り自由
申し込み不要

連絡先
高齢者あんしんセンターみどの新町
平日8:30-17:15
高崎市新町333番地 0274-42-0200



つむぎハウスの赤いドアがカフェファデーデン



↑ 元) 消防士より災害についてのお話
← パンと珈琲でランチタイム
認知症サポーターの証 →
↓ 寸劇で認知症を学ぶ中学生



@HIROMI_MARUMO



@TSUMUGI_HOUSE2024